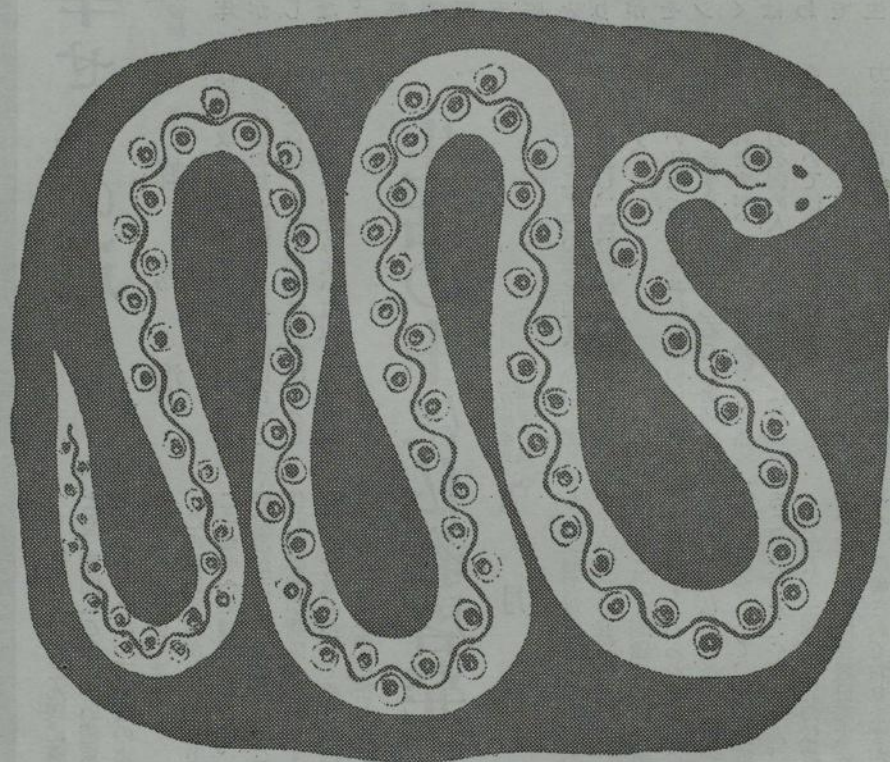


全 仏

NO. 224

1 / 52



新らしい年に

全日本仏教会会長
真宗大谷派法主

大谷 光暢

全国の仏教徒の皆様、明けましておめでとうございます。

今年、衆議院選挙の後をうけて保革伯仲した激動の年を迎えることになりました。このことは政治にたずさわる人々ばかりでなく私達仏教徒も深く反省すべき時期がまいったということではないでしょうか。人間が巨大な機構の中の、歯車の一つに組みこまれ、ただただ国力の復興、経済の成長にのみ腐心してまいった結果といわねばなりません。

第十二回世界仏教徒会議日本大会を来年にひかえ、広い視野で国際協力を進め、全日本仏教会は一丸となって、この激動の世に寂靜の天地を開くべく、釈尊の示された無漏の慧燈を掲げて歩みを進めたいと念願する次第です。

昭和52年の新春を迎えて

仏心こそ幸せへの道

全日仏副会長
高野山真言宗管長

高峰秀海

私達は毎年の如く年頭に当って、本年も又全ての人が幸せに、そして世の中が平和でありますようにと祈ります。而し願う通りにはいかないもので人世は苦難りの様相がありありと現われています。

新年早々申訳ない話ですが――昨年暮新聞に発表された消防白書によれば、昨年の火事六万二千余件、死者二六七四人、うち放火による自殺者が前年より五十一人増の三七四人で五年前の二・五倍は他の方法での自殺者にも当てはまるとすれば全自殺者の数は莫大なものになります。何故にかくも多数の自殺者が出るのでありましょうか。白書にはその原因にはふれておりませんが、石油ショック以来不況と物価高で生活は苦しくなりましたが自殺の原因はそれのみではなく、精神的なものも多分にあると思われまます。その一つは都会のマンションで代表される隣人との隔絶が孤独者を生み、孤独に耐えかねての自殺も大いに考えられます。

高野山真言宗管長
高野山真言宗管長
は手を取ってよろこびを分かち合い、悲しい時にはお互いに慰さめ合い助け合っていくならば、私達の周囲はほのぼのとした温かい明るい住みよい世界になります。

生活の中に仏教啓発

全日仏副会長
日蓮宗管長

望月日滋

昭和五十二年巳の年を迎え、心から慶賀の意を表し、各位のご健勝を祈念申し上げます。

新しい年とともに私共仏教徒の使命と任務は、ますます重大であることを痛感させられますが、科学文明の発展が自然淘汰の力を弱め人類の危機がさげられる今日においては拱手傍観はできません。そのために各宗派、県仏それぞれが総力を挙げて教化活動をされておることと思いますが、大きな問題などにつきましても、常に仏教徒が一丸となって活動することが強く社会から要請されます。さいわい全日本仏教徒会議三重大会で

もし私が失意のどん底に落ちましようとも、周囲にこの温かい善意があれば、それが支えとなって再起のよろこびが得られること信じます。

この温かい善意が仏心であり、この仏心こそ幸せへの道であります。閉鎖的な生活環境が進む中でこそ一層このお互いの仏心の必要が痛感せられます。皆さん、互に手を取り合って幸せへの道をお進み下さらんことを切に祈ります。

も「生命の尊厳」について話しあわれ、今年の第二十五回埼玉大会でも社会的要請にもとづく問題について討議されるべく準備がすすめられていると聞いておりますので、仏教徒各位それぞれが先頭に立つ気概をもって、使命達成に努力されることを望んでやみません。

また五十三年に世界の仏教徒が参集して、世界仏教徒会議日本大会が開催されるべく準備されておりますが、この大会において仏陀の教えの厳格な遵守実践を増進し、一致協力して仏教が生活の中に啓発感化すべく、全日仏の総力を發揮して、意義深い大会となるよう念じます。

謹賀新年

財団法人

全日本仏教会

会長 大谷光暢
副会長 高峰秀海

理事長 田邊哲崖
事務局長 花山信勝

常務理事

- 神原玄祐
- 熊野竜夫
- 神田寛雄
- 別所弘因
- 藤岡義昭
- 稲岡覚順
- 野村宗春
- 四宮正音
- 嶺藤亮
- 宮部幸磨
- 江西寛堂
- 橋爪良恒
- 芳賀達宗
- 小倉日宝
- 松村寿顯
- 貝山宣泰
- 大石好文
- 桜井大乗
- 山本杉
- 理事
- 南谷恵澄
- 清水谷孝尚
- 立部端祐
- 味岡良戒
- 岩城秀雄
- 藤音晃祐

精神面の反省と努力

全日仏副会長
東大名譽教授

花 山 信 勝

謹しみて新春のご挨拶を申しあげます。今年には原爆によって終戦となった昭和二十年から数えて、正に三十二年になります。数十万の尊い生命が、広島と長崎とに、一瞬にして消え去られた方々、また東京都をはじめ全国各地で爆撃によって死傷された方々、さらに遠く海外に出征して戦場で戦死された多くの方々のためには、寸時も忘れることのできない、三十三回忌にあたるのです。

全国各地の仏教会や寺院、またご遺族の家庭では、それぞれ追悼法要が営まれることと存じます。恭しくご仏前に拝礼ご焼香申しあげます。もしも天皇さまのご決意によって終戦となっていなかったとしたら、どうでしょう。恐らく数百万の敵兵の本土上陸となつて、最後まで玉砕を覚悟させられていた当時のわたくしたちは、ほとんど全滅してしまつて、この世に生命はなく、

日本大会の基礎作り

全日仏理事長
曹洞宗宗務総長

田 辺 哲 崖

昭和丁巳の新春を迎えるにあたり、謹んで全日仏加盟各宗派・団体並びに諸天徳のご清福を祝いたします。今更、改めて申すまでもなく、激動してやまない現在における国内外の諸情勢の中にあつて、その内容乃至は由来する原因を具さに吟味するとき、われわれ宗教人、わけでも積尊の教えを信奉する仏教徒に課せられた責務の如何に重大であるかを深く思うものであります。

課せられた使命遂行の一大具現化でなければなりません。従つてこの大会の中核体となるべき全日仏の本年は、その基礎作りと指導実践への書写真完成に全力投球のときともいふべきであります。けだしこの大会の成功如何は全日仏そのものの鼎の軽重を問われること必至だからであります。斯うした意味におきまして全日仏加盟各宗派、団体諸大徳各位が惜みなきご道愛を寄せられますことを切望してやみません。

日本という国も亡びていたかも知れません。

終戦後三十年を経て、その間には食糧や住宅、衣類等、いろいろ困難な生活をも体験いたしました。今日のように恵まれた日常生活は、全く夢のようにしか思われません。

それにつけても、生き残らされたわたくしたちは、三十三回忌の方々のために衷心から、感謝と報恩のいとなみを致さなければならぬと存じます。殊に産業、経済の面において長足の進歩を遂げた現在の日本のためにも、また世界のためにも、精神面における反省と努力とが望まれて止まぬのであります。宜しくご協力のほどをお願いいたします。

賀 正

財団法人

国際仏教興隆協会

- 名譽総裁 大谷 光 暢
- 名譽会長 賀 屋 興 宣
- 理事長 巖 谷 勝 雄
- 役員 一 同

東京都目黒区中目黒五十二一四一五三
祐天寺内
〒153 〇三(七二一)七六〇八

- 土井 敬 照
- 大友 謙 談
- 神村 拙 底
- 町田 宗 夫
- 長谷川 靈 信
- 黒田 白 純
- 熊野 竜 夫
- 村瀬 良 彦
- 中山 理 々
- 服部 恭 寿
- 桜井 景 雄
- 奥田 行 朗
- 川口 良 信
- 石川 隆 悖
- 土田 真 也
- 横井 鶴 洲
- 佐藤 寛 雄
- 花田 英 忠

事務総局

東京都台東区西馬場一ノ五ノ五
〒111 〇三(八四三)六三四一

- 事務総長 鯉 淵 正 浩
- 事務次長 安 藤 義 祐
- 総務局長 加 藤 海 晃
- 組織局長 龍 山 哲 成
- 国際文化局長 來 馬 規 雄

関西事務局

京都市東山区林町 下六〇五
〇七五(五四一)七三三一

- 事務総長 白 幡 憲 佑
- 組織部長 能 邨 英 士
- 国際部長 後 藤 純 一
- 教化部長 北 島 経 昭
- 文化部長 齋 藤 隆 昭
- 審議部長 小 林 隆 戒
- 総務部長 梶 原 隆 也

昭和52年1月1日

第12回WFB日本大会

53年10月1日〜6日に決定

WFB本部執行委員会開かる

十一月十五日より十二月一日まで、バンクラディッシュのダッカ市ダンマラージカ寺記念塔除幕式、マレイシア国ペナンのWFB執行委員会とWFBベナン支部二十五周年記念式典、シンガポールのアジア宗教者平和会議などに、全日仏石川恒彦国際主事が出席、以下その報告。

ダルマラージカ記念塔除幕式

ダルマラージカ寺境内に建立された記念塔は、八メートルほどの高さで、その上には付近から出土した中世の仏陀像が安置されている。式は十一月十六日に寺の講堂で石川主事、アクバル・カピール情報長官、ヴィシユダナンダ長老が挨拶



テープカットする石川主事

し、石川主事は「この建物は日本の協力で建ったものであるが、金銭的援助はあくまで補助にすぎず、長老を中心としてバンクラ仏教徒の努力が、バンクラ仏教の真の力である。今宵の塔の除幕がバンクラ人民の幸福に力を与えるよう希望する」と述べた。

そのあと庭に出て、色とりどりの電球に飾られた菩提樹の前で、石川主事が合掌の中をテープカットした。

WFB執行委員会

WFB執行委員会はペナンのイー・アンド・オー・ホテルにおいて、十一月十九日に開かれた。出席はWFB会長・プリン妃殿下と本部職員、それにスリランカ、マレイシア、日本、アメリカの代表であった。会議の最大眼目は日本で開かれる第十二回世界仏教徒会議日本大会であり、日本のWFB大会準備委員会の提案を認め、昭和五十三年十月一日〜六日東京・京都で開催することに決定した。ただ大会テーマについては全てのセンタに提案を求めるよう指示が出された。なお大会のあと一週間ほど地方大会を開くことが承認された。その他、日本に多くの仏教徒が参収できるよう未加盟の地

域に、加盟促進を勧めることとなりラオス、ベトナムや、海外の日本仏教徒の加盟について日本が努力する。次回のWFB執行委員会は五日に東京で開く。

WFB日青年セミナー

WFBベナン支部の創立二十五周年記念の国際仏教青年セミナーは「国家建設への仏教青年の役割」をテーマに、十一月二十日より二十三日までペナンのマレイシア仏教会館で開かれた。

WFBYのバンコック本部の手違いで国際セミナーといっても、外国からの参加者が少なかつたが熱心な討議がなされた。しかし同じ青年達でも国情の違いは大きくマレイシア青年の視点の相違にはとまどいを感じた。

マレイシアの仏教徒は大部分が中国系であるが、英植民地時代の名残りで、英語で日常生活を送っているという特殊状況にある。このような環境が「国際セミナー」といったものを開くにつけての条件を与えているように見えただけに参加者が少なかつたのは残念である。

アジア宗教者平和会議

アジア宗教者平和会議は十一月二十五日より十一月三十日まで、アジア各地の十五の宗教を代表する約三百名の代表がシンガポールに集まって開かれた。

会議は、実質的には世界宗教者平和会議日本委員会とシンガポール宗教協力委員会で開催され、最終日にアジア宗教協力機関と宗教教育センター設置、難民救済、全面軍縮等を要望する宣言を発して終了した。

財団法人 埼玉県佛教会

第25回全日本仏教徒会

議埼玉大会準備委員会

事務局

準備委員長 大島 見道

副委員長 岩崎 鳳栄

事務局長 柳 了堅

事務局次長 河野 亮永

総務部長 小出 秀峰

財務部長 北之内 真龍

組織部長 山本 道隆

事業部長 押野見 順栄

浦和市高砂四の十三の十八
埼玉会館内

〒363 〇四八八(六)二二三八

第二十五回全日本仏教徒会議

埼玉大会は10月7日

第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大会は、十月六、七日、浦和市において開催されることとなり、地元埼玉県仏教会では準備委員会を発足させ（大会一年前の昨年十月七日）、意義ある大会となるよう努力されている。

埼玉大会実施要項
期日 十月六日 都道府県仏代表者会議
十月七日 全日仏埼玉大会
場所 浦和市 埼玉会館大ホールほか

現代に仏教を活かそう

埼玉県仏常務理事 北之内真龍

第25回全日本仏教徒会議埼玉大会（10月7日浦和市）を、いかにして成功させるかに、ありもしない智慧をしほっているが、ないものをひねりだす苦勞よりも三人よれば文珠の智慧で、多勢の方々、有縁の人々のお智慧を、拝借したいものである。

したい。その内容をみると、①写真特集（カラー入り）、②序編、③式典会議編、④檀信徒部会編、⑤仏教会編、⑥企画準備編、⑦芳名録、⑧報道編、⑨回顧編、⑩名簿編と分かれて詳しく、豪華版で大変、参考になる。さすが、岐阜日日新聞社の力添えのあっただけのことが、うかがえる。埼玉では、さらに財務会計編も加えて、紀要を出したいと思っている。

これまでの、毎年の大会資料を参考にしたいと思ったが、わずかしか手にはいらない。こんなことでは、これからの大会をやる県仏または宗派・本山で、埼玉同様、こまるのではないかと、思うので埼玉大会の関係資料は、充分に集録しておきたいと、痛切に考えている。

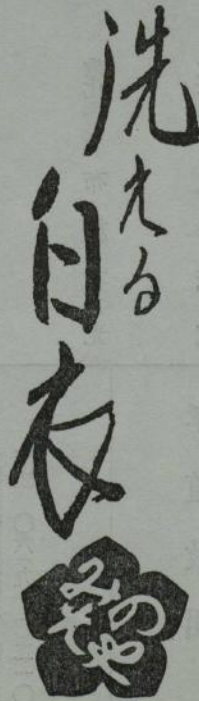
ただ一つ、第15回岐阜大会（昭和43年）の「われら仏教徒」という大会集録（B5版二八二ページ）が、発行されていることは、唯一つの救いである。岐阜大会実行委員会に対して、深く感謝の意を表

全第3種郵便物認可 仏

（浦和市高砂四丁目13-18埼玉会館内）

三六五日お召になる皆様の白衣が絹の風合いを持つ現代の繊維シルックで、ご奉仕できれば…と東レとみそのやが共同開発いたしました洗える白衣。
これまでの正絹やウールの白衣とちがって仕立てたまま丸洗い出来、又シミや汚れ知らずで雨の日にもお気軽にお召いただける洗える白衣です。
お仕立てはみそのや独自の手縫いですから五十二回一週間に一回一年間丸洗いしても全く変わりません。生地は風合い・感触にもほとんど変化はありません。美しく強い洗える白衣をどうぞご愛用ください。

使用生地 東レシルック・ポリエステル100%シルラックA加工



お手入れ法

洗たく 洗たく 中性洗剤で水洗い（丸洗い）するのが最適。洗たく後は静電気防止剤ハミングなどを使用して絞らず、そのままハンガーに掛け日陰に干してください。

洗たく機の場合はネットを必ずご使用ください。ベンジンは絶対に使用しないでください。

アイロン 温度一六〇—一八〇度位で当て布をしてください。

保存 虫やカビの心配は全くありませんが汚れやシミを十分に取り除いてからしまってください。

株式会社 みそのや

東京・東京都新宿区西新宿三丁目11番1号 TEL: 03-3401-0411
京都・京都市宇治市大久保町日輪一丁目1番1号 TEL: 075-251-1111
福岡・福岡市博多区寿通り TEL: 092-281-1111

年 新 賀 謹

曹洞宗宗務庁

管 長 秦 慧 玉
 宗務総長 田 辺 哲 崖
 参 議 大 島 恭 龍
 参 議 館 天 山
 総務部長 芳 賀 達 宗
 教学部長 町 田 宗 夫
 財政部長 大 竹 明 彦
 教化部長 佐 藤 正 道
 布教部長 栗 田 伸 美
 秘書室長 松 原 冬 流
 広報室長 鎌 原 佑 元

東京都港区芝二の五の二
 〒105 〇三(四五四)五四一一

日蓮宗宗務院

管 長 望 月 日 滋
 宗務総長 松 村 寿 頭
 総務部長 遠 藤 日 護
 庶務部長 堀 竜 雄
 財務部長 石 井 隆 教
 教務部長 藤 田 教 忠
 護 法 伝道部長 小 川 原 潮 栄
 新聞部長 中 村 正 彦
 遠 忌 事務局長 小 林 栄 雄
 参 与 伊 保 内 清 応
 参 与 保 田 義 妙

東京都大田区池上二の三十二の十五
 〒143 〇三(七五一)七一一一

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 猪 熊 日 祥
 宗務総長 水 本 大 岳
 総務部長 鈴 木 昭 吾
 教化部長 布 施 慧 光
 教学部長 牧 野 琢 成
 財務部長 土 屋 善 敬
 宗務参事 星 川 恒 雄

東京都豊島区集鴨五の三五の六
 〒170 〇三(九一八)七二九〇

念法真教団 総本山金剛寺

灯 主 小 倉 靈 現

大阪市鶴見区緑三十四一三三
 〒538 〇六(九一一)二二〇一

孝 道 教 団

大 統 理 岡 野 正 道
 統 理 岡 野 正 貫
 副 統 理 岡 野 貴 美 子

横浜市神奈川区鳥越三八
 〒221 〇四五(四三三)二二一〇一

賀

正

臨濟宗妙心寺派

管長 梶浦逸外
 宗務総長 江西寛堂
 総務部長 後藤純一
 教学部長 竹中文鼎
 財務部長 梶田泰賢
 花園会本部長 原英嶽
 法務部長 渡辺琢山
 京都市右京区花園妙心寺町
 〒616 〇七五(四六三)三二二一

天台宗宗務庁

宗務総長 神原文祐
 庶務部長 中村義応
 財務部長 田中俊晃
 教学部長 長純潤
 社会部長 生田孝憲
 総務室長 高橋良暢
 東京支庁長 赤沼義俊
 大津市坂本本町一七七二の一
 〒520-01 〇七七五(七九)〇〇三二

融通念仏宗々務所 総本山 大念仏寺

管長 本靈禅山
 宗務総長 萩元明信
 教学部長 池嶋得宝
 庶務部長 栗山良全
 財務部長 仲谷良司
 御回在局長 阪本明瑩
 事業局長 竹山晴日
 大阪市平野区平野上町一の七の二六
 〒547 〇六(七九)〇〇二五六

臨濟宗円覚寺派

管長 朝比奈宗源
 宗務総長 加藤大憲
 鎌倉市山之内四〇九円覚寺内
 〒247 〇四六七(三二)〇四七八

真言宗御室派 総本山仁和寺

門管長 森諦円
 宗務総長 立部瑞祐
 執行長 立部瑞祐
 京都市右京区御室大内三三三
 〒616 〇七五(四六二)一五五

謹賀新年

浄土宗宗務庁

浄土門主	岸 信宏
宗務総長	稲岡 覚順
総務局長	梶原 重道
教学局長	古屋 道雄
財務局長	水谷 激道
社会局長	飯田 信弘
総長公室長	無垢品 導生
開教振興協会事務局長	山口 諦存
宗務支所長	野村 宗春
宗務支所次長	長尾 賢導

京都市東山区林下町四〇〇
〒605 〇七五(五四一)七三三

真言宗豊山派宗務所

管 長	川田 聖見
宗務総長	熊野 龍夫
総務部長	加藤 龍弘
教化部長	門屋 大寿
教務部長	田野 憲有
財務部長	岩脇 宏信

東京都文京区大塚五の四〇の八
〒112 〇三(九四五)〇六三九

真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

管 長	芙蓉 良順
宗務総長	別所 弘因
寺務長	
総務部長	小沢 照禧
教学部長	岡田 昌道
法務部長	岡本 実良
教化部長	斎 隆套
出張所長 別院執事	小宮 勝憲

京都市東山区七条東瓦町九六四
〒605 〇七五(五四一)五三六一

浄土宗西山 深草派宗務所

宗務長 山本 勝隆

京都市中京区新京極桜之町四五三
〒604 〇七五(二二二)〇九五八

真言宗智山派大本山

成田山新勝寺

貫 首 松田 照應

千葉県成田市成田一
〒283 〇四七六(〇一)二二一一

修驗道大本山

高尾山薬王院

貫 首 山本 秀順

東京都八王子市高尾町二七七
〒193 〇四二六(六一)二一一五

賀 正

浄土宗総本山 知恩院

門 主 岸 信 宏
 執事長 鶴 飼 隆 玄
 京都市東山区林下町
 〒605 〇七五(五三)二二一

浄土宗大本山 増上寺

法 主 大 野 法 道
 執事長 宮 島 了 道
 教務部長 原 口 徳 正
 財務部長 多 賀 谷 崇 峰
 施設部長 佐 山 昭 順
 庶務部長 楠 美 知 行

東京都港区芝公園四の七の三五
 〒105 〇三(四三三)一四三二一

真言宗豊山派

総本山 長谷寺

化 主 川 田 聖 見

事務長 中 川 祐 俊

執 事 小 林 昌 司

〃 南 波 義 範

〃 菅 生 戒 応

〃 島 村 智 堂

奈良県桜井市初瀬町七三二の一
 〒633-01 〇七四四四(七)七〇〇一

真言宗智山派大本山

川崎大師平間寺

貫 首 高 橋 隆 天

院 代 原 教 運

執 事 茂 木 隆 応

総 務 馬 本 克 美

川崎市川崎区大師町四〇四八
 〒210 〇四四(二六六)三三四二〇

聖 観 音 宗

金龍山浅草寺

管 長 清 水 谷 恭 順

宗務総長 壬 生 台 舜

東京都台東区浅草二一三一一
 〒111 〇三(八四二)〇一八一

妙見宗宗務本庁

管 長 野 間 秀 泉

宗務総長 青 木 法 麿

大阪府豊能郡能勢町野間中七一八
 〒563-01 〇七二七(三七)〇〇二八

謹 賀 新 年

真言宗国分寺派 大本山国分寺

管 長 西 口 公 教
座 主 西 口 公 教
宗務総長 近藤彰範

大阪市大淀区国分寺一の六の十八
〒331 〇六(三五二)五六三七

大阪府仏教会

会 長 西 口 公 教
(国分寺)

副会長 鷺地 一隆
(本照寺)

井上文克
(妙信寺)

事務局長 川口良信
(全興寺)

事務局
大阪市大淀区国分寺一の六の十八
国分寺内
〒331 〇六(三五二)五六三七

真言宗東寺派宗務所

管 長 草 野 栄 龍

宗務長 吉川律城
庶務部長

教学部長 大野大雅

財務部長 真田快尊

主 事 北川亮暁

宗議会議長 片岡実雄

副議長 松本英澄

京都市右京区西京極葛野町
〒615 〇七五(三二二)二〇一七

信貴山真言宗

朝護孫子寺宗務庁

管 長 野 沢 密 厳

前管長 鈴木鳳永

元管長 田中真弘

宗務長 田中真瑞

奈良県生駒郡平群町信貴畑二二八〇
〒636 〇七四五(七二二)二七七

本山修験宗

総本山 聖護院門跡

門 主 岩 本 光 徹

執事長 宮城泰年

執 事 加 来 徳 泉

田 中 祥 雲

京都市左京区聖護院中町
〒606 〇七五(七七二)二八八〇

真言宗醍醐派

管 長 岡 田 宥 秀

京都市伏見区醍醐東大路三二
〒601-13 〇七五(五七一)〇〇〇二

真言宗中山寺派

大本山 中山寺

宝塚市中山寺二の十一の一
〒665 〇七九七(八六)六五一七

本門仏立宗宗務本庁

宗務総長 西村日地

京都市上京区御前通一条下ル
〒602 〇七五(四六一)六五四二

賀 正

神奈川県仏教会

総 裁 岩 本 勝 俊

会 長 貝 山 宣 泰

副 会 長 小 沢 省 元

柴 田 敏 夫

小 崎 竜 雄

安 藤 文 雄

事務局

鎌倉市小町一丁目二二二
本覚寺内
〒248 〇四六七(二)〇四九〇

茨城県仏教会

会 長 大 越 孝 仁

副 会 長 秋 本 義 雄

牧 田 実 栄

小 林 栄 雄

土 肥 浩

中 村 純 崇

事 務 局 長 小 原 泰 寿

次 長 猪 瀬 宝 山

外 職 員 理 事 評 議 員 一 同

本 部

茨城県多賀郡十王町友部一九九〇
〒319-13 〇二九二(三)二二〇五一
事務局
水戸市八幡町十一の六九祇園寺内
〒310 〇二九二(二)五二二九

京都市 京都府 仏教会

会 長 野 々 山 龍 全

副 会 長 横 井 鶴 洲

葉 上 照 澄

理 事 長 小 林 忍 戒

事 務 局 長 宮 城 泰 年

京都市中京区東洞院通三条下ル
住心院内
〒604 〇七五(二)八五九八

新潟県仏教会

会 長 広 川 芳 雄

事 務 局 長 倉 茂 良 海

会 計 小 島 不 二

庶 務 川 端 義 秀

新潟市西堀通六番町八七一
長善寺内
〒951 〇一五二(三)四五四六

法華宗(本門流)宗務院

管 長 松 井 日 宏

宗 務 総 長 芹 沢 泰 寛

宗 会 議 長 桃 井 観 城

豊島区北大家一の一六の四
〒170 〇三九一〇三五九八

沖縄県仏教会

会 長 田 原 惟 信

副 会 長 岡 本 恵 清

幹 事 糸 数 真 人

善 国 乘 憲

那覇市安里三八 神徳寺内
〒902 〇九八八(三)五八九四

難民孤児の救済呼びかけ

バングラディッシュ仏教会長ら来日

荒廃のバングラディッシュにおいて孤児救済に努力されているビッシュユダナンダ長老（バングラディッシュ仏教会会長）が、スッタナンダ比丘、ダット・グプタ氏と共に、十二月十日午後九時五分、エア・サイアム機で羽田に到着、鎌田全日仏国際部長、石川国際主事、山田一真師らの出迎えをうけ、ひさびさの対面に肩をたたきあって喜こんだ。油上本門寺（日蓮宗）のご好意で朗降会館（東京での四日間宿泊）に入り、深夜にもかかわらず市川、中島両師の出迎えに感激。

今回の来日目的は、長老がダッカとチッタゴンに経営する孤児院に対し、全日



来日したビ長老一行（羽田にて）

仏の呼びかけに加盟各宗派、梶仏、諸団体や寺院、仏教徒等より八百万円の救済金が寄せられ、それにより孤児の収容がより多くできるようになり、その答礼とさらに援助を要請するためである。

十一日からは旅の疲れもみせず、本門寺をはじめ東京方面各本山を参拝、十五日からは東西本願寺とはじめ京都各本山

バングラディッシュの孤児に愛の手を!!

バングラディッシュは、印パ戦争の影響や、モンスーンなどの天災によって大きな被害をうけ、おびただしい難民に混じって、幾多の孤児が飢えと病いに苦しんでおります。

ダッカとチッタゴンに在る「仏教孤児院」には四百名にのぼる孤児が収容され、仏教教育をうけ、リハビリテーションを通じて、社会復帰に努力しておりますが、日常の食糧、衣類、薬品にいまなお相当の欠乏を見ており、そのうえ孤児院に入れない孤児がまだまだ多数いるという窮状を、同じ仏教徒として黙視し得ない現状であります。

何卒これら幾多の孤児救済のために皆様の善意を伝達いたしたく、救済資金の募集をいたしておりますので、御

を参拝し接待をうけた。また十四日にはTBSテレビ、十六日には近畿放送テレビに出演、バングラディッシュの苦しい実態と救済を呼びかけた。全日仏事務局にはその直後から電話での問い合わせが数本あり、救済金もぞくぞく寄せられ、事務局では反響の大きさに喜び、さらに大きな運動となるよう努力している。

ビッシュユダナンダ長老談 先般の八百万円もの寄進は永久に忘れることはできません。日本仏教徒の方々に深謝申し上げます。また今度の来日に際し全日仏ならびに各本山等の歓迎に感謝します。

協力下さるよう伏してお願ひ申し上げます。

目的

バングラディッシュ国ダッカ市在ダンマラージカ仏教孤児院・チッタゴン市在アグラサラ仏教孤児院に対する救済

送金先

東京都台東区西浅草一の五の五（財）全日本仏教会事務総局
振替 東京2・59547

（財）全日本仏教会
口座 東海銀行浅草支店
一三五一四三七 全日本仏教会・鎌田良昭

主唱 財団法人 全日本仏教会

財団法人 仏教伝道協会

- 理事長 宮本正尊
 - 理事 中村元
 - 雲藤義道
 - 松原泰道
 - 鎌田憲英
 - 高辻恵雄
 - 沼田恵範
 - 監事 芝田徹男
 - 坂東環城
 - 三原信一
- 東京都港区芝四の三の十四
〒108 〇三（四五五）五八五一

林錦東師が来日

中華民國台湾省台中市の宝覺寺住持の林錦東師が、十月二十日に三十三年ぶりに来日。師はかつて臨濟宗妙心寺で修行し、花園大学に学んだ僧で、特に戦争で台湾に残した日本人遺骨一万四千体を丁寧に同寺に保管、立派な納骨堂を建立して回向している親日家である。来日以来各方面で友人知己と再会をなつかしみ、日本仏教徒の来訪を心待ちしていると言っていた。訪台の折には次のところへ連絡してほしいそうである。

中華民國台湾省台中市北区建行路一四〇号—宝覺寺

全仏常務理事会開く

昭和五十二年度事業案等を審議

全日本仏教会の常務理事会は、十一月三十日午後二時より東京浅草の東京本願寺で開かれ、田辺理事長を議長に、桜井大乗、熊野竜夫の両師を議事録署名委員に選出して議事に入った。

議案第一号「人事異動について」

第二号「職員給与改正について」

第三号「昭和五十二年度事業計画案について」

第四号「昭和五十二年度歳入歳出予算案について」

第五号「日本曹溪宗加盟申請について」

第六号「第十二回WFB日本大会に

韓国仏教代表团来日

日韓仏教親善交流深める



来日した韓国仏教団

日韓仏教親善交流のため、十二月十四日午後四時半K.L機で、韓国仏教代表团五名(李南采・太古宗、孫榮振・真言宗李鐘五・元晔宗、柳讚祐・弥勒宗、金光泰・大韓仏教会)が来日、豊山派のご好意により同派宗務所に宿泊。翌日からは東京各本山を参拝、十六日以降は京都各本山、奈良各本山を歴訪し、二十日は大正大、東洋大を訪れ仏教学者とも懇談し、その後全仏主催の歓迎茶会が東京本願寺記念会館で開かれ、日韓仏教交流を深めた。

近代仏教研究会

代表 壬生 照順

事務局長 小室 裕 充

東京都台東区元浅草一十七二—華藏院内
〒111 〇三(八四四) 三六四八

真理運動本部

主管 友松 諦道

東京都千代田区外神田

三一四—一〇 神田寺
〒101 〇三(二五二) 八八四二

曹洞宗大本山 永平寺

貫首 秦 慧玉

外役寮 一同

福井県吉田郡永平寺町

社団法人

全日本仏教婦人連盟

会長 大谷 智子

副会長 一条 智光

〃 岡野 貴美子

理事長 山本 杉

事務局長 船口 暉子

事務局

東京都世田谷区桜上水四一九七
〒156 〇三(三〇二) 一五九八

関東甲信越 各県仏の活動状況報告

各県仏の活動状況報告

去る十二月二日午後一時より埼玉県長
静「長生館」において昭和五十一年度関
東甲信越ブロック会議が開催された。

出席者三十名、来年十月に第二十五回
全日本仏教徒会議埼玉大会をひかえての
埼玉県仏の招聘による当地でのブロック
会議だけに熱気ある会合になった。

閉会后、大島埼玉県仏教会副会長の導
師による三浦依文唱和、続いて鱈淵全仏
事務総長挨拶、議長に貝山神奈川県仏会
長を選出して議事に入った。

議事 1 昭和五十二年度全仏大会につ
いて

議事 2 第十二回世界仏教徒会議日本
大会について

議事 3 各県仏よりの活動報告

議事 1 については大会開催地である埼
玉県より柳事務局長が今日迄の準備等の
説明と今後の動き、及び大会への参加を
呼びかけられた。池上本門寺大会より四
年後の関東地区での大会であるから、関
東甲信越静のブロックから参加者三十名
以上をお願いしたい。その他の県からも
積極的に参加をお願いし、約千五百名を結
集し、意義ある大会にしていきたい。殊
に昭和五十三年にむかえる W・F・B 大
会日本大会の前の大会である故、仏教徒
の意気のこもった形をうちだしていきたい

いと、諸種の行事を實踐していくことを
強調された。

議事 2 については機関紙「全仏」に報
告し、又されていくことである故省略。

議事 3 各県仏の活動状況報告

静岡県仏 毎年県仏としては戦没者合
同慰霊祭を行っている。現在各地区仏教
会の檀信徒大会運動を活発に展開中。

群馬県仏 更生保護運動を中心に活動
している県仏機関紙発行年 2 回。

茨城県仏 県仏としては今年ようやく
発足しふもので、組織づくりに現在奔走
している状態だが、今年七月に大会をも
ち「黒い法要」拒否を決議した。

長野県仏 各郡市仏教会の動き活発。
十月飯田市において開催した県仏大会に
おいて「黒い法要」拒否を決議した。共
済組合を結成中。

神奈川県仏 青年会、寺庭婦人会名簿
作り、県の宗教課の指導による会計簿記
講習会開催。寺院火災援助組合の結成。
夜は六時から懇親会を同所において行
い和気あいあいのうちに散会した。

なお各県とも年に二回程度の会報を出
しているのが注目される点である。

埼玉大会話し合い

組織専門委員会

組織専門委員会が十二月九日午前十時
より全仏会議室において開催された。議
題の中心は第二十五回全日本仏教徒会議
埼玉大会であった。準備委員会を来春早
々に結成して事に当るよう努力すること
など話し合った。

出席者は埼玉県側から柳大会事務局
長、北之内県仏事務局長、河野亮永師の
三氏、専門委員の方々は櫻井大乗氏、新
間信雄氏、久保基太清氏、土持良栄氏、
高辻円雄氏、持田貫宣氏、神野真一氏、
鈴木靈孝氏、板橋有成氏であった。

宗教用語の商標登録 特許庁と意見交換

先般特許庁商標課長石川義雄氏より日
本宗教連盟に対し、文化庁宗教課を通
し、現在商標出願されている宗教用語
〔例 心経・神霊・般若・般若心経・神宮
・及び梵字マーク・家紋・お守り等〕の
取扱いについて協議の申し入れがあり、
去る十二月六日特許庁の方々と日宗連幹
事並びに関係者をまじえ意見の交換がな
された。

この会議において今後も起って来ると
予想される宗教用語の商標化に対し、本
連盟としてはどのように対処していけば
よいか、又特許庁としてもどのような姿
勢でのぞむか協議がなされた。しかし現
段階では、特許庁に出願される物件は、
商品である現物の提示が要求されている
ようであるが、出願者が保護のために出

願する宗教団体であるか、商品化し独占
使用する業者であるか、その区別、制限
がつけ難いとの事であった。これに関し
て日宗連としては、宗教の用に供するも
のの商標登録の自粛を呼びかけると同時
に、特許庁が出願されたものについても
それが宗教の用に供するものであった場
合受理せぬよう要望することとした。今
後の方向としては、本連盟自体が「商標
出願速報」(財)日本雑貨振興センター
電話一五〇一〇一)等により、出願の手續
のとらわれているものの現況を把握すると
同時に衆参両院の商工委員会でも取扱わ
れた「特許法等の一部を改正する法律案
に対する付帯決議」に見られる「宗教法
人の標章の付帯保護」が信仰と宗教活動
の自由との関わりの中でどう位置づけら
れるか検討協議を加え、一日も早く「法
的保護」されるより努力、伝統的な宗教
用語の使用の一部で独占されることとな
いよう成り行きを注目するものである。

長野県仏教徒大会

長野県仏教会では、十一月二十一日午
前十時より、飯田市伝馬町の善勝寺を会
場に「第二十二回長野県仏教徒大会」を
開催した。

都築玄妙会長(善光寺大勧進)の導師
により法要を厳修したあと、総会にうつ
って会長挨拶、来賓祝辞、議長選出とす
すみ議事に入った。飯田女子短大生の仏
教讃歌や、東原先生の「人間の尊厳」と
題する記念講演につづき大会宣言を発表
し、黒い法要追放決議等を採用した。

大阪府仏教会

概要

終戦後再出発した大阪府仏教会は、左藤義詮師（前の大阪府知事）、間野敬重師を経て西口公教会長に至る三代の会長のもと、年々発展の一途をたどって現在会員数二千六百、地区仏教会は大阪市内地区二十五仏教会、大阪市内地区各衛星都市を含めて四十三仏教会を

紹介 仏 県

かぞえるに至り、六大都市の大阪府仏教会（会員数九百）とは緊密な連繋のもとに各々の立場を尊重しながら活動を続けている。昭和三十七年度には第十回全仏大会が総本山四天王寺を主会場として開催され、これを契機として、府仏自体も大阪府仏教徒会議を年々開催し、昭和五十一年で第十四回目を迎え、去る十月七日には津村別院北御堂において盛大に催した。

運営

本会の運営は各地区仏教会長（六十八地区）を理事として理事総会を最高の決議機関とし、地区をブロックに大別して常任理事を選出、常任理事会において企画、運営を計るといふ民主的運営をしている。ただ残念なことに諸般の事情により年間会費が二百円で会計面が大変窮乏なことである。これがため年一回の仏教会議に総本山その他有志寺院特信者より寄付金を仰いで、その余剰金をもって通常会計を賄っているというところで、今後の本会運営の一つの課題といふべきであろう。

「黒い法要」追放

全国にさきがけ提唱

会務

一、本会の主たる事業は年一回の仏教徒会議である。従来は会員の親睦を主とした総会風の内容であったが、近年は本会の目的でもある宗教法人法に即した税務関係及び宗教法人としての意識を高揚するための講演会等を主眼とした内容に力点を置いて開催している。

一、昨年来本会が打出した例の「黒い法要」追放促進運動も全国的に波及してその面目をほどこしているが、大阪府下でも今年度に二、三の例をのぞいて、その実施が反省されて社会的状況の影響もあって、徐々ではあるがその成果が見られる。



「大阪府仏教会」を今年一月全会員に一冊ずつ無料配布することができた。

一、年二回機関誌「府仏会報」三千部を発行し、全会員に本会の事業、会務予決算等を報告している。

役員（任期二年）

- 会長 西口公教 国分寺派 国分寺
- 副会長 鷲地一隆 本願寺派 本照寺
- 井上文克 大谷派 妙信寺
- 事務長 川口良信 高野真言 全興寺
- （事務局）大阪府大淀区国分寺町四
- 【写真は去年の大阪府仏教徒大会】

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (481) 4965

全国総発売元

印度直輸入品（線香・白檀・沈香・ボダイ樹の葉）
御座百人・法名人・おみくじ線香
線香（ローソク）・完全燃焼器・安全焼香台・駄線香

各大本山御用達

法衣・装束 東 梅金商店
莊嚴・神仏具 資 社
贈答用記念品

<〒460> 名古屋市中区大須三丁目39番33号
（大須交叉点東北側）

TEL <052> 名古屋241-0901（代表）

振替口座 名古屋1110番・東京5741番

取引銀行	東三友銀行	海井十友銀行	銀行	大須支店	須磨支店	津島支店	前田支店	上野支店	勸業銀行	第一銀行	三和銀行	大須支店	大須支店	大須支店	大須支店
------	-------	--------	----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

掲 示 板

関西事務局人

▼全日仏関西事務局では十月一日付で、井上承爾師が退任し、森野現弘師が主事に新任。

哀 悼

興 文文師(埼玉県仏教会会長)

十二月五日遷化、七十七歳。第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大会の準備委員長として活躍中であつただけに、大会を前にしての遷化は、埼玉県内外より惜まれる。

事務総局録事(十二月)

- 二日 関東申信越静ブロック会議
ブディストクラブ成道会出席
- 六日 WFB勸財小委員会
- 八日 東京都仏成道会出席
- 九日 組織専門委員会
局内会議
- 十日 バンクラ長老来日
- 十一日 バンクラ長老歓迎会
- 十三日 韓国仏教代表団来日
- 二十日 韓国仏教代表団歓迎会
- 二十三日 宗務総長会(京都)
- 二十五日 事務納め

花まつりポスターのご利用を

花まつりの行事は年々盛大に繰り広げられておりますが、さらに全国的に浸透

せしめるために、全日本仏教会では写真のような統一したポスターを作成し、広くご利用いただけるよう頒布しております。



明るい春の野に、静かに立って天と地をさすお釈迦さまの姿は、見る人の心に安らぎを与えることと思えます。本年も各県仏都市仏・各寺院・幼稚園などで広くご利用下さい。

◎一枚百円(三十枚以上は送料全日仏負担) 外国は別途)

美しい日本の、国債。

宗教法人の皆さま、大切な資産運用に国債をご活用になりませんか。国が発行する債券ですから、もちろん安全確実。さらに宗教法人は免税団体ですので利息は非課税扱いになり年8%の大きな利息が、そっくり10年間、確保されます。また短期の資産運用をお考えなら、短期間でも有利な既発国債も利用できます。皆さまの資産運用が明日の国づくりにも役立ち、一石二鳥。ぜひ、今後の資産運用の柱に、国債をご検討ください。

野村證券

〒103 東京都中央区日本橋1丁目
電話 (03)211-3811(大代表)

昭和五十二年一月一日発行
一月号第二二四号

発行人 齋藤 正浩
編集人 求馬 規雄

発行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西淺草一ノ五ノ五(東京本願寺内)
電話 〇三(八四三)六三三(四一)三